



多種の紛争解決の経験・知識を礎に 労働問題の予防・解決に導く社労士



経営法曹会議賛助会員
雇用労働相談センター相談員
三重総合社労士事務所

〒 460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内 3-19-12
久屋パークサイドビル 3F
URL <http://www.mh5.jp/>

【業務内容】

- ・労働組合の対応、補佐業務
- ・労働審判、民事調停の補佐業務
- ・従業員に対する面接交渉の補佐業務
- ・その他労務トラブル全般の対応
- ・あっせん代理業務
- ・リスク対応型就業規則・諸規定作成・変更
- ・メンタルヘルス対応業務
- ・その他企業のための労務問題への取組
- ・手続業務（電子申請対応）
- ・給与計算業務（給与奉行・弥生給与・PCA 使用）

Company data

特定社会保険労務士

三重 英則

大学の法学部卒業後は一般企業に営業職として勤めるが、父親の就業中の事故をきっかけに社会保険労務士を目指す。資格取得後は、社労士事務所および、弁護士事務所で約10年ほどの経験を積む。2012年に三重総合社労士事務所を開業し、労働トラブルの解決に尽力している。

Personal data



水野 三重所長は社会保険労務士として活動されているようですが、これはどのようなお仕事なのでしょうか？

三重 労務に関するお悩みを抱えた企業の問題解決が主な業務であり、労働法のプロとして企業経営者をサポートしています。具体的には、クライアント企業の就業規則を見直すことで労働問題の発生を事前に防ぎつつ、トラブルが発生した場合には迅速に対応するのです。また、近年増加している労働組合との問題も、円満な解決へと導きます。

水野 専門性が高そうなお仕事ですが、開業するまでの経緯を教えてください。

三重 はじめは一般企業に勤めたのですが、大学時代は法学部で学んでいたこともあり、法律に関する仕事をしたいと考えていました。そんな折、父が就業中に遭った事故で社労士のお世話になり、「人の役に立てる」仕事であることに魅力を感じて社労士を志したのです。そこから勉強して社労士の資格を取得し、実務経験を積むために、社労士事務所に3年、弁護士事務所に6年勤めました。働く中で、企業と従業員とのトラブルに積極的に関わっていくスキルも身に付いたので、独立・開業に至ったというわけです。水野 一般企業や他の事務所で働いた経験は所長の強みになると思います。

三重 そうですね。今までの経験は、どれも今の仕事の礎になっていますが、特に弁護士事務所で得たことは大きいですね。社労士としての立場のみに留まらず、弁護士の視点からの意見をお客様にお伝えできるということは、他の社労士事務所にはない特長だと思います。

水野 なるほど。では、企業のトラブルを解決する際に、所長はどのようなことを心がけていますか？

三重 従業員を守るように企業を導くことを意識しています。その際、経営者や従業員といったどちらかの立場に寄るのではなく、中立な立場からアプローチするようにしています。そして労務問題の根本である企業の体制を改善することで、より健全な職場環境を整えます。私たち社労士は、言うなれば企業を健全

な経営へと導く“ホームドクター”のような存在です。その役目を果たすため、当所の職員は積極的にお客様の企業へ足を運び、現場の雰囲気を知った上で対応します。やはり、実際に行ったからこそ見えてくる部分もありますから。

水野 データや書類のやり取りだけでなく、文章化されていないところも大切にされている所長の様子が伝わってきて、なんだか温かみを感じます。

三重 ありがとうございます。これからも「みんなの役に立ちたい」という初心を忘れないようにしたいです。そして、活動範囲を全国に広げたいと考えているので、今後は組織作りにも注力します。より専門性の高い業務を増やし、企業の合併買収などにも対応できるように、スキルアップを続けていくつもりです。

Guest Comment

水野 裕子(タレント)

敷居の高いイメージのあった士業ですが、三重所長はストレートにお話ししてくださって、親しみやすい雰囲気が伝わってきました。また、文章や数字のみに頼らず、自らが感じたことを軸にお仕事されているので、細やかな対応ができるのだと思います。今後も、ぜひそのスタンスを貫き通していただきたいと思います。

